

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日

上場会社名 株式会社銀座山形屋 上場取引所 東
 コード番号 8215 URL http://www.ginyama.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口弘明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 渡邊光潤 TEL 03-6866-0276
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,183	△50.7	△714	-	△540	-	△678	-
2020年3月期第2四半期	2,401	△4.2	△149	-	△107	-	△125	-

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △291百万円(-%) 2020年3月期第2四半期 △190百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△393.26	-
2020年3月期第2四半期	△72.97	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,720	2,453	52.0
2020年3月期	4,604	2,745	59.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,453百万円 2020年3月期 2,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点におきまして合理的に算定することが困難なため、未定としております。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2 Q	1,804,471株	2020年3月期	1,804,471株
2021年3月期2 Q	79,305株	2020年3月期	79,218株
2021年3月期2 Q	1,725,241株	2020年3月期2 Q	1,725,348株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いております。政府は感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくための政策を実行してまいりましたが、回復に向けた動きは鈍く、先行き不透明な状況が続きました。

当社を取り巻く環境におきましては、消費マインドの低下と消費者の購買行動の変化に伴う販売チャネルの多様化並びにパターンメイドスーツ業界の企業間競争の激化により、厳しい経営環境が続きました。

このような厳しい経営環境のなか、感染症拡大を防止するために細心の注意を払いながら、密集を避けるための予約販売やお客様用の手指消毒用器具・飛沫防止シート設置など感染防止対策を行い販売してまいりました。一方で、仕入の抑制・固定費の削減や岡山工場・北海道工場の閉鎖による生産体制の再構築等に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,183百万円（前年同期比50.7%減）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響によりオーダーメイドスーツの受注数量が前年同期比51.6%減となり、縫製工場の生産活動に影響し売上総利益率が21.0ポイント悪化しました。販売費及び一般管理費は全てのコスト等を現場段階から見直しに努め、営業外収益で雇用調整助成金等の入金はありましたが、経常損失は540百万円（前年同期は107百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は北海道工場閉鎖による減損損失及び事業整理損の計上もあり、678百万円（前年同期は125百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

小売事業

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急事態宣言により、商業施設店舗等の営業休止や郊外型店舗の営業時間の短縮・休日、不要不急の外出自粛要請による消費マインドの低下等により大きく客数減少し、緊急事態宣言解除後は徐々に回復傾向にあるものの、ライフスタイルの変化もありコロナ影響前の水準を取り戻すことは出来ず減収減益となりました。

その結果、売上高は668百万円（前年同四半期比49.4%減）、営業損失261百万円（前年同四半期営業損失27百万円）となりました。

卸売事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、展示会が中止となり営業活動も自粛したことにより販売件数が減少し、緊急事態宣言解除後においても地方都市での展示会の中止・延期が長期間にわたったことにより減収減益となりました。

その結果、売上高240百万円（前年同四半期比61.5%減）、営業損失123百万円（前年同四半期営業損失25百万円）となりました。

受託縫製事業

新型コロナウイルス感染症の影響によりオーダーメイドスーツの受注数量が大幅に減少し、北海道工場閉鎖等により縫製事業の生産活動の再構築を実行いたしましたが大減収・減益となりました。

その結果、売上高730百万円（前年同四半期比48.8%減）、営業損失328百万円（前年同四半期営業損失80百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態は、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して115百万円増加し4,720百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度末と比較して228百万円減少しました。受取手形及び売掛金が前連結会計年度末と比較して減少したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して343百万円増加しました。これは主に投資有価証券の時価の増加によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して407百万円増加し、2,267百万円となりました。これは、主に580百万円の借入金の実行によるものであります。

純資産の部においては、主に親会社株主に帰属する四半期純損失678百万円を計上した結果、当第2四半期連結会計期間末の株主資本は2,116百万円となりました。

また、その他有価証券評価差額金は386百万円の増加でありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響による業種間格差が激しく景気回復・個人消費につきましては先が見えない状況であります。現時点においても新型コロナウイルス感染症は、完全な解決の時期が見込めない状況にあります。

今後の環境も依然として不透明な部分が多く、2021年3月期の連結業績予想の合理的な算定は困難であるため、未定としております。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,200,955	1,218,237
受取手形及び売掛金	520,038	227,956
商品及び製品	212,227	228,897
仕掛品	16,446	14,877
原材料	149,908	141,817
その他	65,750	103,556
貸倒引当金	△2,957	△1,016
流動資産合計	2,162,369	1,934,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	200,839	192,654
その他(純額)	291,649	221,837
有形固定資産合計	492,488	414,491
無形固定資産		
その他	92,667	109,971
無形固定資産合計	92,667	109,971
投資その他の資産		
投資有価証券	1,032,351	1,449,769
敷金及び保証金	695,841	684,052
繰延税金資産	1,979	-
その他	136,399	137,397
貸倒引当金	△9,128	△9,128
投資その他の資産合計	1,857,443	2,262,090
固定資産合計	2,442,599	2,786,552
資産合計	4,604,968	4,720,878
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,511	123,484
未払法人税等	18,711	13,719
ポイント引当金	48,934	43,613
資産除去債務	24,000	17,508
その他	604,454	537,022
流動負債合計	881,611	735,348
固定負債		
繰延税金負債	52,843	83,220
長期借入金	-	580,000
役員退職慰労引当金	106,172	109,327
退職給付に係る負債	567,996	534,586
資産除去債務	215,079	195,611
その他	35,840	29,083
固定負債合計	977,932	1,531,829
負債合計	1,859,544	2,267,177

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
利益剰余金	149,209	△529,261
自己株式	△81,325	△81,412
株主資本合計	2,795,445	2,116,886
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	△50,021	336,813
その他の包括利益累計額合計	△50,021	336,813
純資産合計	2,745,424	2,453,700
負債純資産合計	4,604,968	4,720,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,401,704	1,183,953
売上原価	1,216,369	848,610
売上総利益	1,185,335	335,342
販売費及び一般管理費	1,335,317	1,050,056
営業損失(△)	△149,981	△714,713
営業外収益		
受取利息	62	48
受取配当金	24,515	25,372
受取手数料	8,345	4,204
受取保険金	673	-
助成金収入	6,573	140,410
雑収入	3,087	4,747
営業外収益合計	43,256	174,783
営業外費用		
支払利息	325	467
修理費	345	-
雑損失	102	-
営業外費用合計	774	467
経常損失(△)	△107,499	△540,397
特別損失		
減損損失	7,803	56,932
固定資産除却損	-	2,589
事業整理損	-	57,409
店舗閉鎖損失	-	10,366
特別損失合計	7,803	127,297
税金等調整前四半期純損失(△)	△115,302	△667,695
法人税、住民税及び事業税	9,353	8,373
法人税等調整額	1,236	2,402
法人税等合計	10,589	10,775
四半期純損失(△)	△125,892	△678,471
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△125,892	△678,471

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△125,892	△678,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,016	386,834
その他の包括利益合計	△65,016	386,834
四半期包括利益	△190,909	△291,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△190,909	△291,636

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△115,302	△667,695
減価償却費	45,969	29,175
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,118	△1,940
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,343	3,155
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△13,019	△33,410
受取利息及び受取配当金	△24,577	△25,421
減損損失	7,803	56,932
事業整理損	-	57,409
店舗閉鎖損失	-	10,366
助成金収入	△6,573	△140,410
支払利息	325	467
売上債権の増減額(△は増加)	166,640	292,081
たな卸資産の増減額(△は増加)	△42,599	△7,009
仕入債務の増減額(△は減少)	△132,697	△62,026
未払金の増減額(△は減少)	△64,228	367
未払消費税等の増減額(△は減少)	△53,184	△38,190
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	△41,765
前受金の増減額(△は減少)	12,635	△424
預り金の増減額(△は減少)	△27,103	△18,459
その他	△2,846	△20,776
小計	△236,297	△607,575
利息の支払額	△325	△467
利息及び配当金の受取額	24,577	25,421
法人税等の支払額	△18,756	△6,715
助成金の受取額	6,573	140,410
営業活動によるキャッシュ・フロー	△224,228	△448,927
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△76,040	△61,162
無形固定資産の取得による支出	△30,120	△33,362
投資有価証券の取得による支出	△602	△629
長期前払費用の取得による支出	△448	-
資産除去債務の履行による支出	△2,712	△23,650
敷金及び保証金の回収による収入	13,021	13,824
敷金及び保証金の差入による支出	△60	△131
その他	△9,748	△2,015
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,709	△107,126
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	580,000
リース債務の返済による支出	△6,188	△6,482
配当金の支払額	△85,676	△95
自己株式の取得による支出	△16	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,881	573,335
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△422,819	17,282
現金及び現金同等物の期首残高	1,451,460	1,200,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,028,640	1,218,237

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,320,001	623,868	455,374	2,399,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	969,888	969,888
計	1,320,001	623,868	1,425,263	3,369,133
セグメント損失(△)	△27,352	△25,280	△80,976	△133,609

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

	金額
報告セグメント計	△133,609
棚卸資産の調整額	1,506
その他の調整額	△620
全社収益(注1.)	147,490
全社費用(注2.)	△164,748
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△149,981

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「受託縫製事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの工場で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した工場について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として6,113千円特別損失に計上いたしました。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく評価額がマイナスであるため、回収可能価額は零として算定しております。

また「小売事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として1,689千円特別損失に計上いたしました。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく評価額がマイナスであるため、回収可能価額は零として算定しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	668,329	240,496	272,967	1,181,793
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	457,181	457,181
計	668,329	240,496	730,149	1,638,975
セグメント損失(△)	△261,641	△123,493	△328,413	△713,549

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

	金額
報告セグメント計	△713,549
棚卸資産の調整額	69
その他の調整額	-
全社収益(注1.)	143,977
全社費用(注2.)	△145,211
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△714,713

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

閉鎖を決定した北海道工場の資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「受託縫製事業」593千円、各報告セグメントに配分していない全社資産56,339千円であります。なお、回収可能価額は、正味売却価額で測定し、零として算定しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。